

十市教ス生 449 号
令和 4 年 7 月 15 日

十和田市スポーツ少年団 各位

十和田市教育委員会
教育長 丸 井 英 子
(公印省略)

十和田市スポーツ少年団活動における
新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底について (通知)

皆様方には、スポーツ少年団の活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止について、ご理解とご対応をいただき感謝申し上げます。

さて、7月に入り、青森県内においても新型コロナウイルス感染症患者が増加傾向をみせており、上十三保健所管内においても過去最多を更新しております。

スポーツ少年団の活動実施におかれましては、時節柄、熱中症予防にもご配慮いただきながら、夏季休業に向けて別紙「十和田市スポーツ少年団における感染拡大防止対策」をご確認いただき、指導者、父兄、団員等に周知の上、今一度感染予防対策について徹底を図っていただくようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症については、日々状況が変化していることから、引き続き最新の情報を確認いただき、各種活動を実施する場合は、安全確保に細心の注意を払っていただくようお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染する可能性があります。スポーツ少年団関係者の皆様におかれましては、個人を特定しようとしたり、誹謗中傷などを行わないよう、特段の配慮をよろしくお願いいたします。

※当該通知に関しては、部活動の取扱いに準じた内容ではありますが、団員が所属する小・中学校長から別途活動自粛等の通知等が出されている場合は、当該学校長の指示に従ってくださるようお願いいたします。

【担当】 十和田市教育委員会
スポーツ・生涯学習課
豊川・小笠原
TEL 0176-58-0187
FAX 0176-24-3954

十和田市スポーツ少年団における感染拡大防止対策

スポーツ少年団活動の実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染拡大要因となる3つの条件（密閉空間、密集場所、密接場面）が重ならないよう、以下を参考に、実施内容や方法を工夫するなど、感染防止のための措置を講じた上で、活動場所、児童生徒の属する学校等の指示、指導内容等もふまえて計画的に実施すること。

一人一人が基本的感染対策の徹底を！

1 スポーツ少年団活動への参加に関すること

- (1) 発熱等の風邪の症状が見られる時は、活動への参加を見合わせ、自宅で休養するよう指導すること。
- (2) 団員や指導者等本人のみならず同居の家族に風邪症状が見られる場合も活動への参加をしないようにすること。

2 活動日、活動時間、活動場所に関すること

- スポーツ少年団の練習は「十和田市部活動の指針」に準じた日数の活動ができるものとする。(週当たりの休養日2日、練習時間 平日2時間程度、夏季休業中、1日につき原則3時間程度とする。)
- 同一日、同一時間に多くの児童生徒が集まることを避けるため、各利用団体の活動日、活動時間をずらすなどの工夫をすること。
- 体育館などの屋内で実施する場合は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに(30分に1回以上、数分程度、窓を全開にする)、2方向の窓を同時に開けて換気をすること。
- 武道場、教室、部室、更衣室等の狭い施設については時間や人数の制限をするなどの工夫をすること。
- 練習前後には、可能な範囲で施設、用具等の消毒をすること。特に多くの児童が手を触れる箇所(ドアノブ、手すり、スイッチ等)は確実に消毒すること。

3 練習に関すること

- 石けんによるこまめな手洗い、練習後には洗顔をするよう指導すること。
- 飲み物、タオル、身に付ける用具は各自が準備し、共用しないよう指導すること。
- 飛沫感染が想定されるような練習及び至近距離での会話(ミーティング、指導者の指示等も含む)は、屋外であっても避けるよう工夫して活動すること。
- 公共、民間施設を利用する際には、利用する施設の指示に従うとともに、活動する人数を調整すること。

4 大会・練習試合等に関すること

- 公式試合については、主催者が講じる感染防止対策や会場となる地域の感染状況及び対応制限等を確認し、保護者との相談の上、慎重に判断した上で参加できるものとする。
- 公式戦以外については、宿泊・交流団体との飲食を伴わない範囲で実施可能とする。
- (3) 練習試合であっても競技の感染防止ガイドラインや主要大会の感染防止対策を参考として、徹底した感染防止対策を講じること。
- 対戦相手との接触の機会を最小限にとどめることとし、プレー時以外は原則としてマスクを着用し、大声をださないこと。
- 大会・行事に参加する場合は、主催者が定める感染防止に関するルールを必ず遵守するとともに、大会の運営状況等に応じて、参加体制・人数等を調整すること。
- 移動(バス等利用)の際には、原則としてマスクを着用する、会話は控えめにする、降車後は速やかに手指消毒など、基本的感染防止対策を確実にすること。
- 練習試合や大会等の参加中の食事(主に昼食)の際は、他の人との距離の確保及び黙食を徹底すること。
- (8) 練習試合や大会参加後など、平時と体調が異なる場合には登校や活動参加はせず、1日程度自宅で療養し、その後回復しない場合には医療機関を受診するよう徹底すること。
- 宿泊を伴う遠征や合宿等は控えることとするが、全国・東北大会に出場する選手又はチーム及び各競技団体から強化指定等を受けた選手又はチームは、宿泊を伴う試合の実施を可能とする。

5 その他

- (1) 各競技団体が作成する競技別のガイドラインに留意すること。
- (2) 移動の前後は、各種イベント会場等、人が集まる所には立ち寄らないこと。
- (3) 活動前後での集団での飲食は控えるとともに、人との接触を避ける観点から、活動終了後は速やかな帰宅を促すこと。
- (4) 指導者、保護者においても活動時間外の会食などの実施は自粛するようにしてください。
- (5) マスクについては、熱中症対策を優先し、着用しない場合は、身体的距離を確保する、話さないなど感染対策を徹底すること。
- (6) 大会や試合前後の健康状態の確認を確実に行うこと。